

バースデーフラワー

～Branch (枝物)～

8月のおすすめバースデーフラワーはBranch (枝物)をメインにご紹介します。「枝物」と聞くと、生け方や組み合わせなど、むずかしいイメージから敬遠されがちですが、そのような事はなく、花と同じように気軽に飾って楽しめる身近な切花です。

枝物は花よりもすっきり飾ることができ、ひと枝生けるだけで季節感たっぷりのインテリアになります。

日持ちもよく、生き生きとした枝ぶりは、部屋を瑞々しく活気づけてくれます。

【ドウダンツツジ】

小さい可憐な花を咲かせ、庭木としても人気のドウダンツツジ。透明感のある爽やかな葉は、秋になると真っ赤に色づく落葉広葉樹です。繊細な枝の美しさから、インテリアグリーンのように部屋に飾る方が増えています。

ドウダンツツジの葉は薄く透け感があり、窓辺の明るい場所に置くだけでみずみずしさが部屋いっぱいに広がります。高さがあるので、それだけで存在感のあるインテリアになります。低い位置に他の切り花やグリーンをコーディネートしても素敵です。



① ユーカリ

【ユーカリ】

丸い葉がかわいらしい、マットな質感のユーカリ。生花が少なくなる夏や冬に重宝します。フレッシュのまま吊しておけばドライにもできる、定番のグリーンです。1本を小分けにしもいれやすく、複数本でボリューム感のあるインテリアとしてもおすすめです。



② サンキライ

【ナツハゼ】

ナツハゼは黒い実と美しい花をつける、ブルーベリーの仲間の落葉低木です。秋でなく夏の時期に紅葉をみせてくれるのが特徴で、観賞用の庭木としての魅力も高く、植木としても人気の高い植物です。

【サンキライ】

クリスマスの頃に赤く色づいたサンキライが有名ですが、夏の明るいフレッシュで艶のある緑色の実もかわいらしく人気の植物です。つる性の垂れ下がる特性を生かして、器から溢れ出るように飾ると絵になりますし、小さな花びんに少量飾ってもかわいらしく、おすすめです。

どれも長さを保ったまま飾れば、リビングなど大きな空間によく映えます。コンパクトにカットすれば、寝室やキッチンなど小さな空間にもよく似合います。また、花物よりも長く楽しむことができるため、種類によっては一本でも様になるので、コストパフォーマンスは抜群です。

「枝物」は一年を通していろいろな表情を楽しむことができます。芽吹き、新緑、実もの、紅葉…。家の中にながら季節を感じるという贅沢も味わえます。

今月はBranch (枝物)を暮らしに取り入れて、インテリアを素敵に彩ってみてはいかがでしょうか。



③ 季節のアレンジ



④ ナツハゼ&秋色アジサイ



⑤ ドウダンツツジ



⑥ パフィオペディラム ¥5,500
葉にまだらの斑が入ったパフィオペディラム。暑も暑い葉の模様から和の雰囲気を感じられます。



⑦ ポリシャス スノープリンセス ¥2,800
ほわほわとしたシルエットと柔らかな色遣いがお部屋に癒しをプラスしてくれます。コンパクトな樹形で卓上サイズにぴったりです。



⑧ セイロンライチア「パニクラッシュ」とアメリカザタの寄せ植え
斑入り植物は外でも楽しむこともできます。ガーデニングをバツと明るくしてくれますよ。斑入り植物を合わせて寄せ植えするのも楽しいですよ。

斑入りであそぼう

～手軽に斑入り植物を飾る～

ジメジメムシムシ、暑い夏もやつと後半戦ですね。さわやかな植物のうちで涼みませんか。緑の葉に白や黄、赤の模様の入った斑入り植物は、個性のかつインテリア性も高く人気の植物です。今回はそんな斑入り植物の魅力を探っていきます。

斑入り植物とは葉などに本来持っている色以外の色で模様が入る植物のことを指します。ひとまとめに斑入り植物と言ってもその姿は千差万別！スツと入ったラインが目玉を惹くもの、複色がモザイク模様となり他とは違う個性を出すもの、葉の縁を囲い柔らかな雰囲気表現するものなど、知れば知るほどに斑入り植物のデザイン性に圧倒されます。

実は斑入り植物に最初に注目したのは江戸時代後期の蘭芸家であり奇品愛好家、水野忠順でした。水野はそれまで「奇形」と呼ばれた斑入り植物を研究し、それをきっかけに価値が高まり斑入り植物は人気品種となりました。斑入り植物を広く世に知らしめるきっかけとなったのは日本人だったのです。

そんな斑入り植物、他とは違った特徴を持ちます。斑入り植物は斑のない植物に比べて生育もゆっくりですので、

植物をあまり大きくせずコンパクトに育てたい方にもオススメです。また、葉焼けの原因にもなる強い光が苦手なので、日光量の少ない場所でも育てることができそうです。ただし、日光量が少なすぎるのも大問題。せっかくの斑の入り方が変わってしまったり消えたりしてしまう事もあるので、しっかりと観察してあげることが大切です。

この季節は「斑入り植物」が多く出る季節でもあります。なかなか外出もしにくい今、お気に入りの植物を育ててみませんか？植物それぞれの模様を楽しんでコレクションしてみても楽しいですよ。



⑨ セダム アトランティス ¥4,000
はっきりとした斑が葉を縁取りきれいなコントラストが素敵です。多肉植物コレクションされる方はぜひチェックしてください。



⑩ 斑入りハイビスカス
夏におなじみのハイビスカスも斑が入るとガラッと雰囲気を変えます。葉っぱは小さいですがしっかりと赤い花を咲かせてくれますよ。



⑪ スキンダブサス
大皿に入ったシルバーの斑が独特な個性を表現します。一株の中にもそれぞれ特徴があって観察するのも楽しいですよ。